

6/18
福#

集団的自衛権の 行使容認「反対」

福井で集会、デモ

安倍晋三政権による集団的自衛権行使容認の動きに反対する決起集会とデモ行進が17日夕、福井市中心部であった。参加者は、閣議決定で憲法解釈を変更しようとする政権を批判し「戦争する国づくり、反対」とシュプレヒコールを上げた。

平和・民主・革新の日本をめぐす福井の会（県革新懇）や県労連など23団体で昨年11



「戦争する国づくり」反対「集団的自衛権行使反対」デモ行進する参加者＝17日夕、福井市大手三丁目

月に発足した秘密保護法阻止県連絡会が呼び掛け、福井市中央公園に130人余りが集まった。県革新懇の松原信也事務局長は「国会論議もしい非民主的な行為を許さない」と訴えた。団体代表者らは「憲法9条が空洞化する」「暴走する政治を阻止しよう」とアピール。憲法9条を題材にした歌を歌い、結束を確認した。

広報車の後に続いて「憲法まもれ」などと書いたプラカードや旗を手にフェニックス通りや県庁前を行進。「集団的自衛権行使容認、反対」「平和を守ろう」と声を張り上げた。（松井理恵）

6/18 県民福井

★集団的自衛権に反対し行進

昨年十一月に発足した秘密保護法阻止福井県連絡会は十七日、安倍政権が閣議決定を急ぐ集団的自衛権行使容認に反対し、福井市大手三丁目の市中央公園で総決起集会を開いた。

百三十六人が参加。代表者九人が「憲法九条が空洞化される」「海外で戦争できる国づくりが狙いだ」と演説。閣議決定によって憲法解釈を変更しようとする手続きを「民主主義の破壊で、国民の主権を踏みにじるもの」と糾弾するアピール文を採択した。安倍晋三首相や県選出の国会議員に送付する。



集会後は中央公園から西武福井店前までの一・五キロをデモ行進。安倍政権の暴走を許さないぞ」「戦争する国づくり反対」などとシュプレヒコールを挙げた。写真。（塚田真裕）